

「ふれあいの船」で北海道へ行ってきました

市内の小学校6年生を対象とした「第5回ふれあいの船」事業が、A班214人(7/19~7/23)、B班198人(7/27~7/31)が参加し、2班に分けて実施されました。

5日間の旅の中で子どもたちは人や自然とふれあい、ふだんの生活ではできない貴重な体験をしました。

ぼくは、ふれあいの船という行事で、夏休みに北海道へ行くことを知り、とても楽しみにしていました。

児童研修会で、たくさんのお話を聞いて、他の小学校の人と自己紹介をしたり役割を決めたりしました。そして、日程表を見て、アイスクリーム作りやサイクリング、旭山動物園と楽しみばかりです。その中でも、ぼくは北海道を自転車で走るサイクリングが一番の楽しみです。そして手作りアイスクリームは、「どんな味がするんだろう？」などと、いろんなことを考えてしまいます。

このふれあいの船で、他の小学校の人達と友達になり、協力し合って頑張りたいと思います。

引率指導してくださる先生方や、ぼく達を送り出してくれたお父さん、お母さんに感謝して、いつまでも心に残る、たくさんのお思い出を作りたいと思います。

では、行ってきます。

A班出発式

児童代表あいさつ

玉川小学校 橋本広貴くん



B班解散式

児童代表あいさつ

小瀬小学校 關 晴香さん



私たちは、「いつまでも 心に残る お思い出を」というスローガンのもと、ふれあいの船に行ってきました。

行く前は「他の学校の子と友達になれるかな?」「長い時間、船に乗って船酔いしたら、どうしよう」など、不安でいっぱいでした。

でも、そんな気持ちは1日目・2日目と活動していくうちに、期待へと変わっていきました。美瑛での14kmのサイクリング、手作りアイスクリーム、旭山動物園でのグループ活動はとても楽しくて、ためになる体験ばかりでした。

私が、ふれあいの船で一番良かったのは、たくさんのお友達ができた事です。私たちは、この5日間で友達とのふれあいや、時間を守ること、仲良くグループ行動するなどの、集団生活の大切さを学ぶことができました。

このふれあいの船事業を計画してくださった関係者の皆さん、指導してくださった先生方、参加させてくれたお父さん、お母さんに感謝したいと思います。ありがとうございます。この貴重な体験を、これからの学校生活に生かして行きたいと思っています。



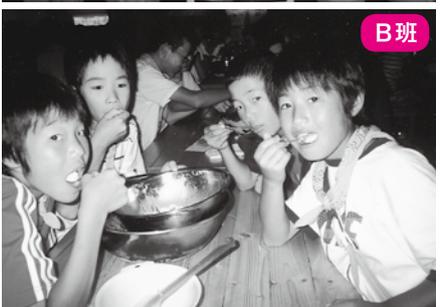
A班



B班



A班



B班



A班



B班